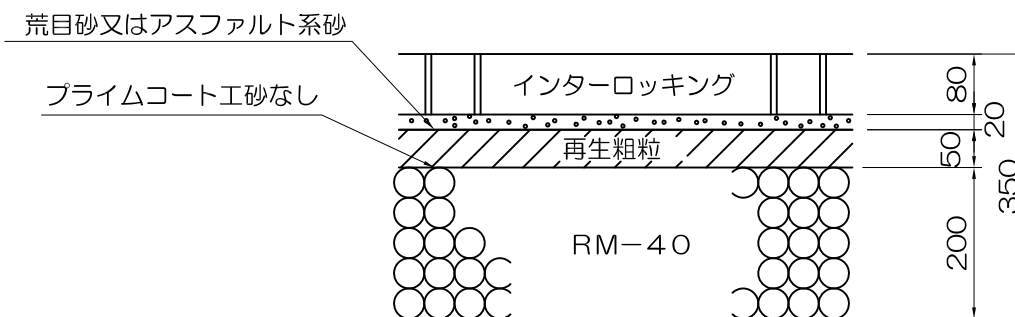


大分類	中分類	小分類	変数	作成年
5000	S I	35	T= SS=	H.23
舗装工	車道I・L・B 舗装	40型用	使用機械 敷砂	

車道インターロッキングブロック舗装 (t=35cm)

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	インターロッキングブロック	80	1.000 (m ² /m ²)	人 力 ▼			ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で40BPN以上を目安とする
砂敷均し工	荒目敷砂(1) 又は アスファルト系敷砂(2)	20	0.025 (m ³ /m ²)	人 力 人力締め			目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下とする
基層工	再生アスファルト混合物(粗粒T)	50	0.126 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	●プライムコート砂なし(1.2ℓ/m ²)
路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 100	☒ ◎ 100	×	※路床転圧
				☒ ○ □ 100 ◎ 100	☒ ◎ 100 ◎ 100	×	

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

(注) 使用機械の凡例

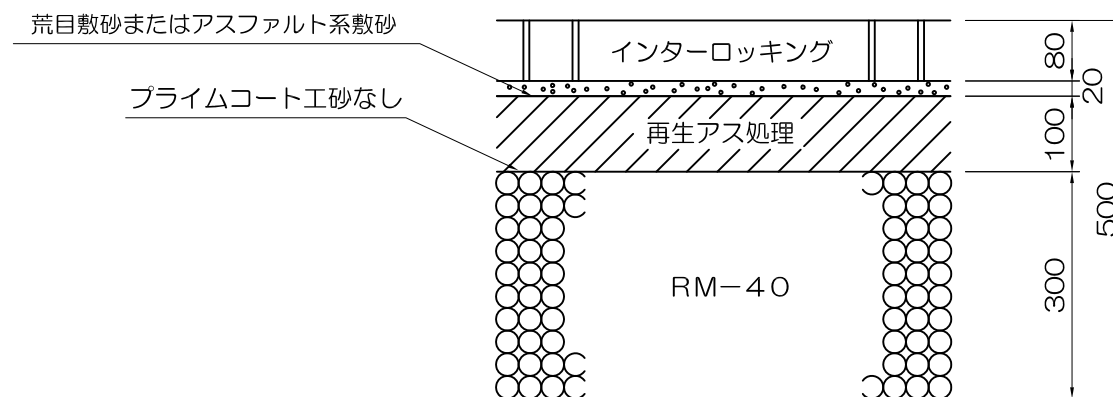
- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動(2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ(8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ(1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ(コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ(3t) | ▼ : 振動コンパクタ(90R) |
| ○ : ロードローラ(10~12t) | × |

大分類	中分類	小分類	変数	作成年
5000	S I	50	T= SS=	H.25
舗装工	車道I・L・B 舗装	55型用	使用機械 敷砂	

車道インターロッキングブロック舗装 (t=50cm)

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A			B			C			備考
				使用機械									
表層工	インターロッキングブロック	80	1.000 (m ² /m ²)	人 力 ▼									ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4.0BPN以上を目安とする
砂敷均し工	荒目敷砂(1) 又は アスファルト系敷砂(2)	20	0.025 (m ³ /m ²)	人 力 人力締め									目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
路盤工	再生アスファルト処理混合物	100	0.249 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×						●プライムコート砂なし (1.2 t/m ²)	
	再生粒度調整碎石 RM-40	300	0.381 (m ³ /m ²)	☒ ○ □ 150	☒ ◎ 150	×						※路床転圧	
				☒ ○ □ 150 ◎ 150	☒ ◎ 150 ◎ 150	×							

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

(注) 使用機械の凡例

- ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m)
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- : ロードローラ (10~12t)
- : タイヤローラ (8~20t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- ×

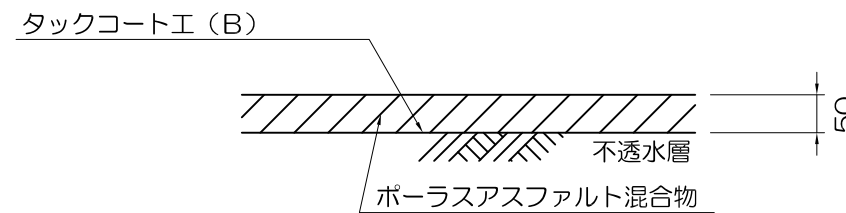
車道 低騒音（排水性）アスファルト舗装（t=5cm）

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	STHA	5	T=	H.25
舗装工	車道低騒音（排水性）アスファルト舗装	総厚	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	ポーラスアスファルト混合物	50	0.105 (t/m ²)	☆ ○ □	▽ ◎	×	タックコートB (0.4 l/m ²) ※ゴム入りアスファルト乳剤

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する（人力施工）

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

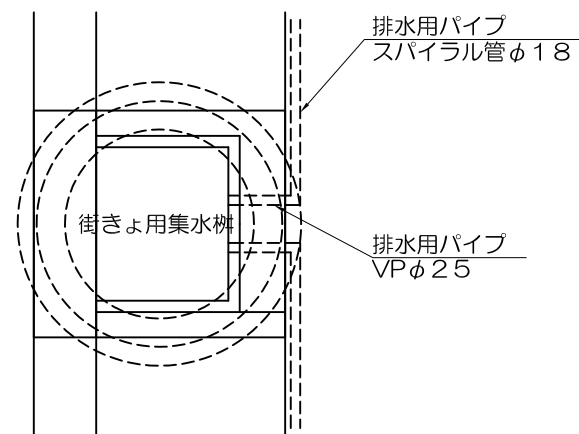
- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| ☆ : アスファルトフィニッシャ全自動 (2.4~6.0m) | □ : タイヤローラ (8~20t) |
| ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m) | ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t) |
| ☒ : ブルドーザ (3t) | × |
| ○ : ロードローラ (10~12t) | × : タンパ (60~100kg) |

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	STHA	HHHP	なし	H.23
舗装工	車道低騒音(排水性)アスファルト舗装	排水性舗装用排水パイプ敷設図	なし	S=1/20

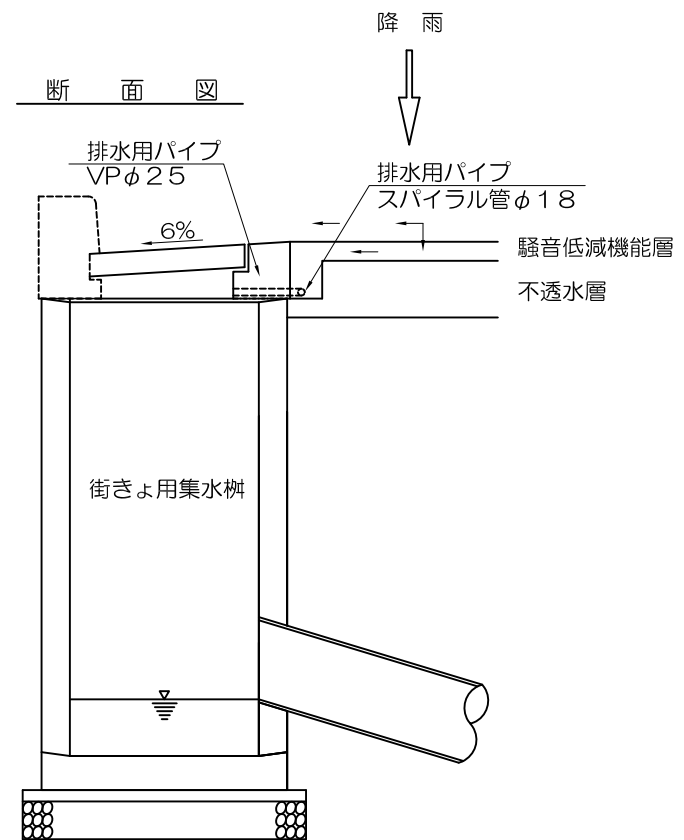
車道低騒音(排水性)アスファルト舗装

排水性舗装用排水パイプ敷設図

平面図



断面図



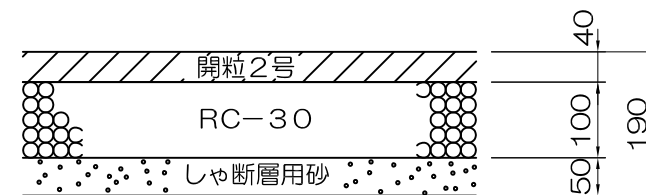
- (注) 1. 降雨量が多く路肩部からの溢水の心配があると判断される場合設ける。
 2. 排水用パイプを敷設するにあたっては、表層上面からのかぶりを考慮すること。
 3. 排水用パイプの施工必要数量は、別途計上すること。

歩道アスコン透水性舗装 (t = 19cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H A T	14 (19)	T=	H.25
舗装工	歩道アスコン透水性舗装	舗装厚 (総厚)	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	アスファルト混合物 (開粒2号)	40	0.098 (t/m ²)		▽ ◎	×	
歩道路盤工	再生クラッシャーラン RC-30	100	0.127 (m ³ /m ²)		☒ ◎ 100	×	100
フィルター層 敷均し工	しゃ断層用砂	50	0.063 (m ³ /m ²)		人力 ◎ 50	人力締固め ×	50 ※路床転圧

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

(注) 使用機械の凡例

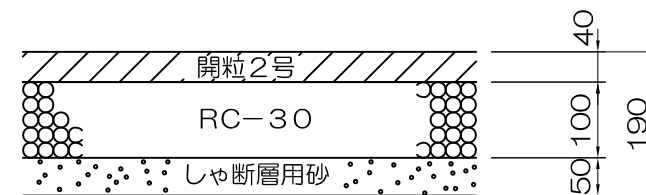
- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ×

歩道アスコン透水性舗装 (t = 19cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H A T	14 (19)	T=	H.25
舗装工	歩道アスコン透水性舗装	舗装厚 (総厚)	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	アスファルト混合物 (開粒2号)	40	0.086 (t/m ²)		▽ ◎	×	
歩道路盤工	再生クラッシャーラン RC-30	100	0.127 (m ³ /m ²)		☒ ◎ 100	×	100
フィルター層 敷均し工	しゃ断層用砂	50	0.063 (m ³ /m ²)		人力 人力締固め ◎ 50	人力締固め ×	50 ※路床転圧

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する (人力施工)

(注) 使用機械の凡例

- ▽ : 小型アスファルトフィニッシャ (1.4~3.0m)
- ☒ : ブルドーザ (3t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ×

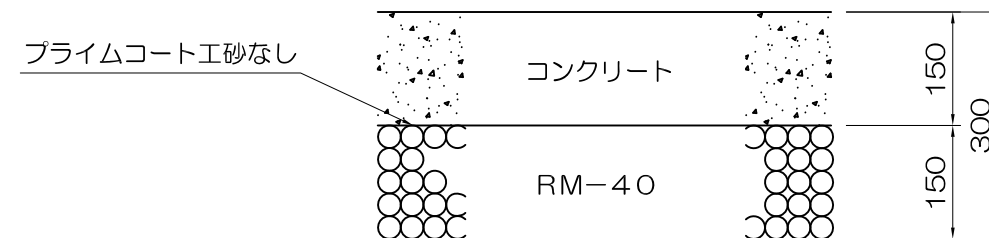
大分類	中分類	小分類	変数	作成年
5000	H C	30	T=	H.23
舗装工	歩道コンクリート舗装	切下	使用機械	

歩道コンクリート舗装 (t=30cm)

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	コンクリート 無筋生コン BB212B	150	0.156 (m ³ /m ²)	パイプレイター			表面仕上げ プライムコート砂なし (1.2 l/m ²)
歩道路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	150	0.191 (m ³ /m ²)		人力 ◎ 50	× 50	※路床転圧
					人力 ◎ 100	× 100	

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ☒ : ブルドーザ (3t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- × : タンパ (60~100kg)

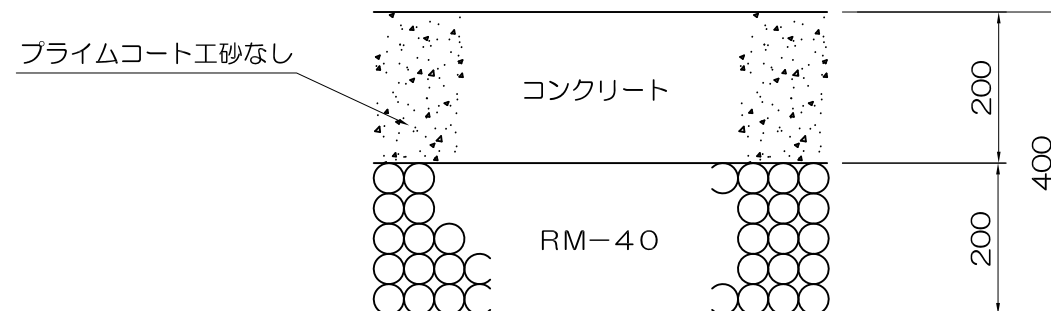
歩道コンクリート舗装 (t=40cm)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H C	40	T=	H.23
舗装工	歩道コンクリート舗装	切下	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械			備考
				A	B	C	
表層工	コンクリート 無筋生コン BB212B	200	0.208 (m ³ /m ²)	パイプレイター			表面仕上げ プライムコート砂なし (1.2 l/m ²)
歩道路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	200	0.254 (m ³ /m ²)		人力 ◎ 100	× 100	※路床転圧
					人力 ◎ 100	× 100	

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ☒ : ブルドーザ (3t)
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- × : タンパ (60~100kg)

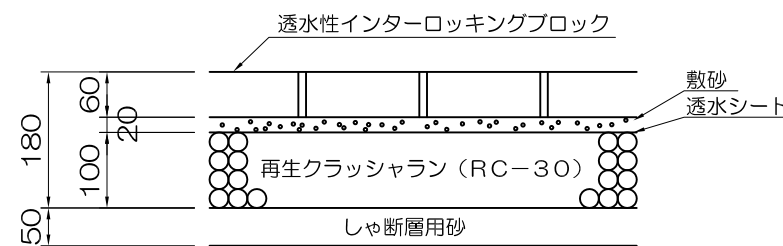
歩道インターロッキングブロック透水性舗装（一般部 区分Ⅰ）

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H I	18 (23)	T=	H.23
舗装工	歩道Ⅰ・L・B 舗装	透水性 一般部 区分Ⅰ	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	透水性インターロッキングブロック	60	1.00 (m ² /m ²)	人カ	▼		ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4.0BPN以上とする
砂敷均し工	敷砂	20	0.025 (m ³ /m ²)	人カ			目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする 透水シート(1.0m ² /m ²) 60g/m ² を標準とする
歩道路盤工	再生クラッシャーラン RC-30	100	0.127 (m ³ /m ²)		人カ ◎	×	
フィルター層 敷均し工	しゃ断層用砂	50	0.063 (m ³ /m ²)		人カ 人カ締固め ◎ 50	人カ締固め × 50	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人カ施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4 t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100 kg)

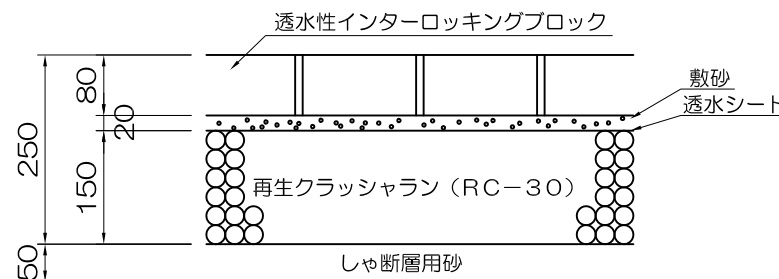
歩道インターロッキングブロック透水性舗装（一般部 区分Ⅱ）

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H I	25 (30)	T=	H.23
舗装工	歩道I・L・B 舗装	透水性一般部 区分Ⅱ	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A B C			備考
				使用機械			
表層工	透水性インターロッキングブロック	80	1.00 (m ² /m ²)	人 力 ▼			ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4.0BPN以上とする
砂敷均し工	敷砂	20	0.025 (m ³ /m ²)	人 力			目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする 透水シート(1.0m ² /m ²) 60g/m ² を標準とする
歩道路盤工	再生クラッシャーラン RC-30	150	0.191 (m ³ /m ²)		人 力 ◎ 50	× 50	
					人 力 ◎ 100	× 100	
フィルター層 敷均し工	しゃ断層用砂	50	0.063 (m ³ /m ²)		人 力 人 力 締 固 め ◎ 50	人 力 締 固 め × 50	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4 t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

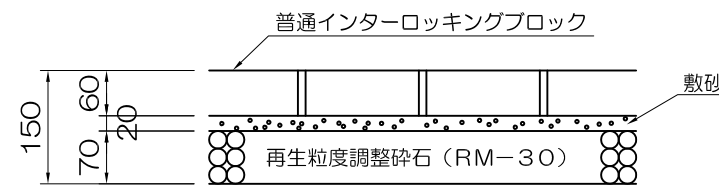
歩道インターロッキングブロック舗装（一般部 区分Ⅰ t=15cm）

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H I	15	T=	H.23
舗装工	歩道Ⅰ・L・B 舗装	一般部 区分Ⅰ	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	普通インターロッキングブロック	60	1.00 (m ² /m ²)	人	力 ▼		ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4OBPN以上とする
砂敷均し工	敷砂	20	0.025 (m ³ /m ²)	人	力		目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
歩道路盤工	粒度調整砕石 M-30	70	0.089 (m ³ /m ²)		人 力 ◎ ◎	× ×	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

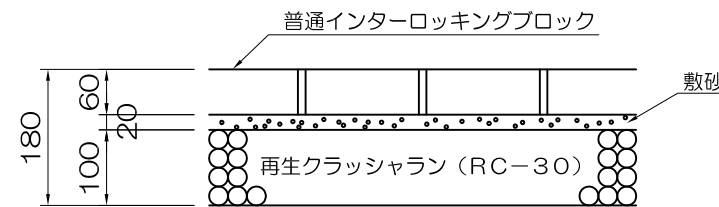
歩道インターロッキングブロック舗装（一般部 区分Ⅰ t=18cm）

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H I	18	T=	H.23
舗装工	歩道Ⅰ・L・B 舗装	一般部 区分Ⅰ	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	普通インターロッキングブロック	60	1.00 (m ² /m ²)	人	力 ▼		ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4OBPN以上とする
砂敷均し工	敷砂	20	0.025 (m ³ /m ²)	人	力		目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
歩道路盤工	再生クラッシャーラン RC-30	100	0.127 (m ³ /m ²)		人 力 ◎ ◎	× ×	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

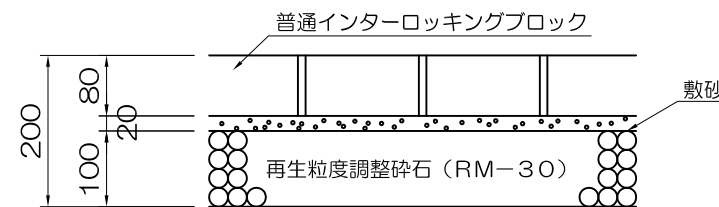
歩道インターロッキングブロック舗装（一般部 区分Ⅱ t=20cm）

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H I	20	T=	H.23
舗装工	歩道I・L・B 舗装	一般部 区分Ⅱ	使用機械	

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	普通インターロッキングブロック	80	1.00 (m ² /m ²)	人	力 ▼		ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4OBPN以上とする
砂敷均し工	敷砂	20	0.025 (m ³ /m ²)	人	力		目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
歩道路盤工	粒度調整砕石 M-30	100	0.127 (m ³ /m ²)		人 力 ◎ ◎	× ×	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

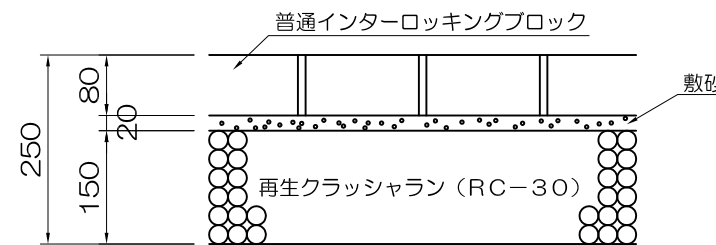
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年
5000	H I	25	T=	H.23
舗装工	歩道I・L・B 舗装	一般部 区分II	使用機械	

歩道インターロッキングブロック舗装（一般部 区分II t=25cm）

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	普通インターロッキングブロック	80	1.00 (m ² /m ²)	人カ ▼			ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4OBPN以上とする
砂敷均し工	敷砂	20	0.025 (m ³ /m ²)	人カ			目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
歩道路盤工	再生クラッシュラン RC-30	150	0.1905 (m ³ /m ²)		人カ ◎ 50	× 50	※路床転圧
					人カ ◎ 100	× 100	

舗装構造図



(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人カ施工)

(注) 使用機械の凡例

- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	H I	30	T= SS=	H.23
舗装工	歩道I・L・B 舗装	車乗入れ部 A～C型	使用機械 敷砂	

歩道インターロッキングブロック舗装（車乗入れ部 A～C型 t=30cm）

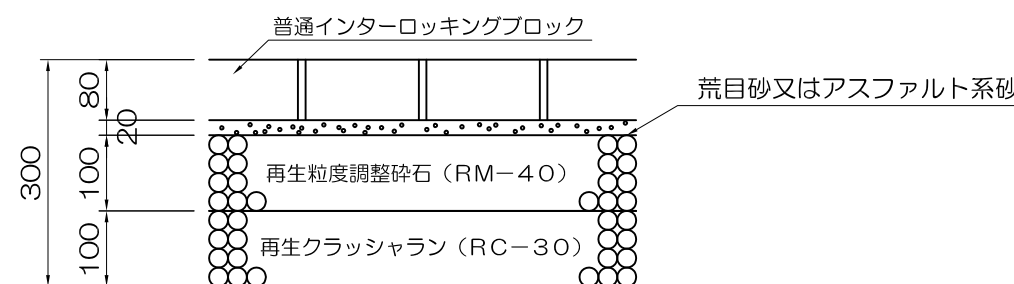
名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A	B	C	備考
				使用機械			
表層工	普通インターロッキングブロック	80	1.00 (m ² /m ²)	人カ	▼		ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4OBPN以上とする
砂敷均し工	荒目敷砂(1) 又は アスファルト系敷砂(2)	20	0.025 (m ³ /m ²)	人カ			目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
歩道路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	100	0.127 (m ³ /m ²)		人カ ◎	×	
歩道路盤工	再生クラッシャーラン RC-30	100	0.127 (m ³ /m ²)		人カ ◎ ◎	×	※路床転圧

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する

Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する

Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4t)

▼ : 振動コンパクタ (90R)

× : タンパ (60~100kg)

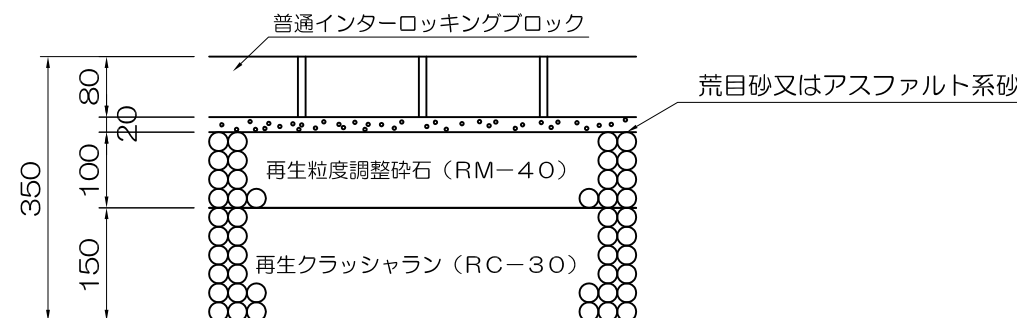
大分類	中分類	小分類	変数	作成年
5000	H I	35	T= SS=	H.23
舗装工	歩道I・L・B 舗装	車乗入れ部 D型	使用機械 敷砂	

歩道インターロッキングブロック舗装 (車乗入れ部 D型 t=35cm)

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数 量	A B C			備考
				使用機械			
表層工	普通インターロッキングブロック	80	1.00 (m ² /m ²)	人 力 ▼			ブロックのすべり抵抗は湿潤状態で4 OBPN以上とする
砂敷均し工	荒目敷砂(1) 又は アスファルト系敷砂(2)	20	0.025 (m ³ /m ²)	人 力			目地砂は最大粒径2.5mm以下の細砂、敷砂は最大粒径5mm以下の荒目砂とする
歩道路盤工	再生粒度調整碎石 RM-40	100	0.127 (m ³ /m ²)		人 力 ◎	×	
歩道路盤工	再生クラッシュラン RC-30	150	0.191 (m ³ /m ²)		人 力 ◎ 50	×	50
					人 力 ◎ 100	×	100

(注) Aは舗装幅3.0m以上の場合に適用する
 Bは舗装幅3.0m未満の場合に適用する
 Cは舗装幅1.4m未満の場合に適用する(人力施工)

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

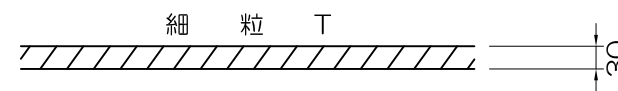
- ◎ : 振動ローラ (コンバインド型3~4 t)
- ▼ : 振動コンパクタ (90R)
- × : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	K F	3	なし	H.25
舗装工	仮復旧工	歩道用		

仮復旧工（歩道）

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械	備考
仮復旧工 (歩道)	アスファルト混合物（細粒T）	30	0.075 (t/m ²)	×	

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

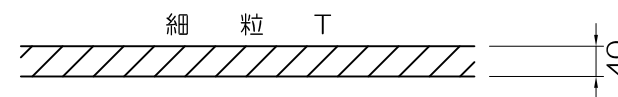
× : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	K F	4	なし	H.25
舗装工	仮復旧工	歩道用		

仮復旧工（歩道）

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械	備考
仮復旧工 (歩道)	アスファルト混合物（細粒T）	40	0.100 (t/m ²)	×	

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

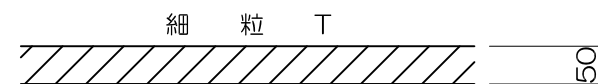
× : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	K F	5	なし	H.25
舗装工	仮復旧工	車道用		

仮復旧工（車道）

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械	備考
仮復旧工 (車道)	アスファルト混合物(細粒T)	50	0.125 (t/m ²)	×	

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

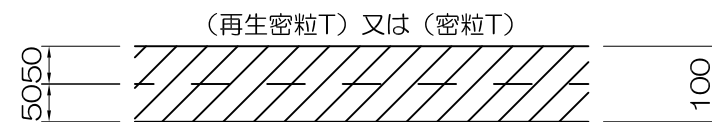
× : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	K F	10	AK=	H.25
舗装工	仮復旧工	車道用	アス混	

仮復旧工（車道）

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械	備考
仮復旧工 (車道)	アスファルト混合物 (再生密粒T)又は(密粒T)	100	0.249 (t/m ²)	×	50
				×	50

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

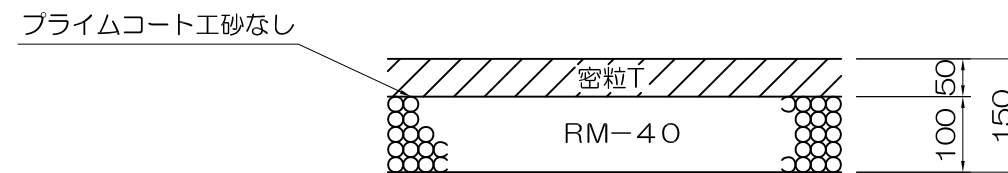
× : タンパ (60~100kg)

大分類	中分類	小分類	変数	作成年度
5000	F F	15	なし	H.25
舗装工	附属物 復旧工	附属物 まわり		

附属物復旧工 (t=15cm)

名称	使用材料	舗装厚 (mm)	単位数	使用機械	備考
表層工	アスファルト混合物(密粒T)	50	0.125 (t/m ²)	人力 ×	●プライムコート砂なし(1.2ℓ/m ²)
路盤工	再生粒度調整砕石 RM-40	100	0.127 (m ³ /m ²)	人力 × ×	※路床転圧

舗装構造図



(注) 使用機械の凡例

× : タンパ (60~100kg)